

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	DOWAパワーデバイス株式会社					
代表者名	氏名	小山内 英世	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県塩尻市大字片丘9637-3					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	セラミックス絶縁基板の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,884	2,047	1,749	1,795	1,746
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,511	3,815	3,269	3,351	3,256
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	2		2	2	2
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	窓口：DOWAパワーデバイス株式会社 安全環境部 事務所にて閲覧可。 電話番号 0263-53-0770 営業時間 9:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

以下の企業理念に則り活動を行う。

(DOWAホールディングス(株)企業理念)

当社は地球を舞台とした事業活動を通じ、豊かな社会の創造と資源循環社会の構築に貢献する。

(DOWAパワーデバイス(株)企業理念)

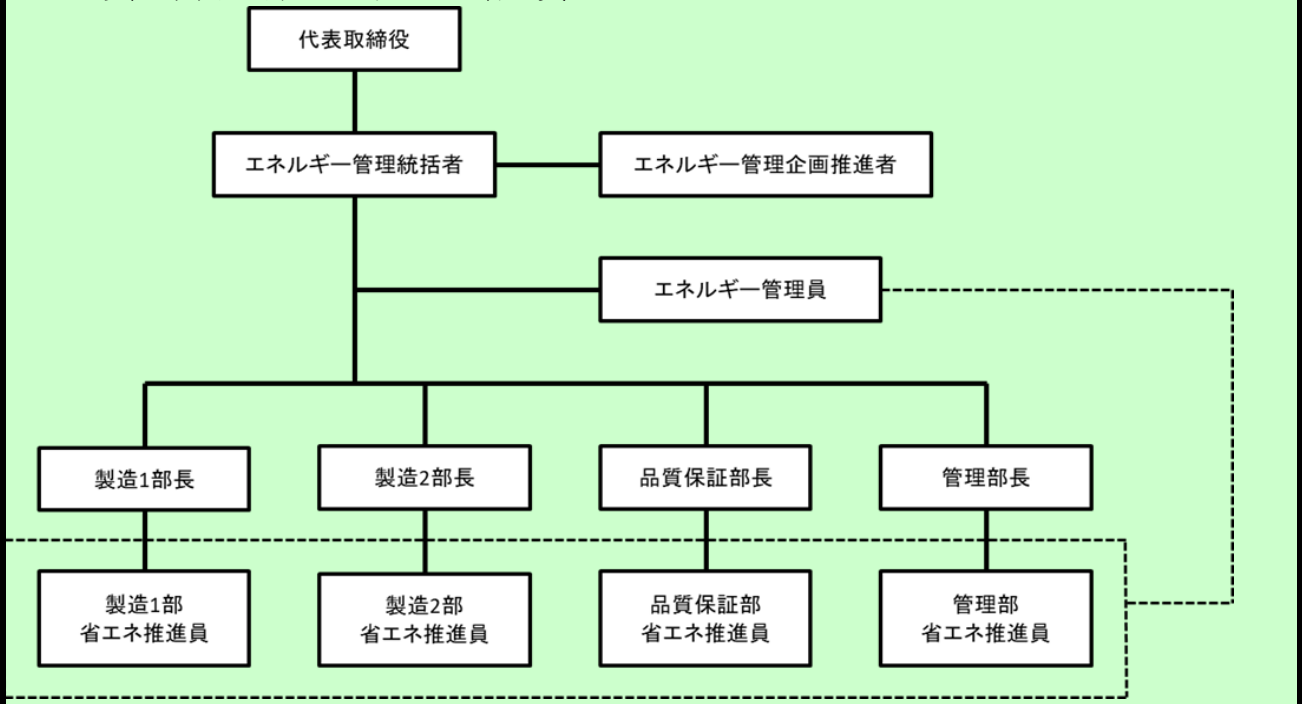
豊かな暮らしの創造と環境社会に貢献していく。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

2発足予定のエネルギー管理体制

以下、兼務とする。

- ・ 温暖化対策責任者＝エネルギー管理統括者
- ・ 計画書/報告書提出担当者＝エネルギー管理企画推進者
- ・ 温暖化対策担当者＝エネルギー管理員



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

●担当者会議

エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者、エネルギー管理員、設備管理課課長(電気系専門職)による対策の進捗会議。2回/年。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,511	t-CO ₂	生産数量(面積)	271	単位	千㎡
2019年度	調整後排出量	3,511	t-CO ₂	基準原単位	12.96	t-CO ₂ /	千㎡
目標年度	目標排出量	3,815	t-CO ₂	目標原単位	12.57	t-CO ₂ /	千㎡
2022年度	目標削減率	-8.66	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>原単位の削減率については1%/年を目標にしました。 生産数量は2022年度には2019年度の12%増を計画しています。 排出量は生産数量と目標の原単位の両方を勘案しました。</p>						
第一年度	排出量	3,269	t-CO ₂	生産数量(面積)	233.66	単位	千㎡
	削減率	6.89	%	原単位	13.99	t-CO ₂ /	千㎡
2020年度	調整後排出量	3,269	t-CO ₂	原単位削減率	-7.95	%	
	削減率	6.89	%				
排出量等の増減理由	<p>電力使用量は、生産量が減ったことにより連続炉などの待機時の電力使用量の割合が大きくなったため、電力使用量が生産量と比例して減少しませんでした。 LPGにつきましては、昨年までは冬季外は生産が終了するとボイラを停止をしていましたが、製品品質保護のため、生産活動を実施していない間もボイラを稼働し続けることになり、10%使用量が増加しました。</p>						
第二年度	排出量	3,351	t-CO ₂	生産数量(面積)	243.96	単位	千㎡
	削減率	4.55	%	原単位	13.74	t-CO ₂ /	千㎡
2021年度	調整後排出量	3,351	t-CO ₂	原単位削減率	-6.02	%	
	削減率	4.55	%				
排出量等の増減理由	<p>電力使用量に関しましては、基準年度に比べて生産量が減少したことにより減少しました。逆に原単位は生産効率の低下により、増加してしまいました。老朽化設備の廃止・新設備の集約化により、基準年度に比べ原単位で窒素は23%、排水量は32%減少させることができましたが、電力使用量原単位減少に寄与させることができませんでした。</p>						
第三年度	排出量	3,256	t-CO ₂	生産数量(面積)	240.26	単位	千㎡
	削減率	7.26	t-CO ₂	原単位	13.55	t-CO ₂ /	千㎡
2022年度	調整後排出量	3,256	t-CO ₂	原単位削減率	-4.56	%	
	削減率	7.26	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>電力使用量に関しましては、基準年度に比べて生産量が減少したことにより減少しましたが、原単位は生産効率の低下により、増加してしまいました。2022年度に建屋を増築し新設備の移管が影響している可能性が考えられます。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	その他	老朽化設備(電気炉)：B1炉廃止	2020	90	2020	90
2	エネ起	その他	商品統廃合による使用設備の統 廃合：アルミナ接合炉の廃止	2020～ 2021	48	2020～ 2021	58
3	エネ起	330299	試験棟チラーの更新、インバー タ化	2020	4	2020	4
4	エネ起	360799	コンプレッサー更新、インバー タ化	2020	2	2020	2
5	エネ起	329999	ボイラ更新	2022	2		
6	エネ起	320207	ボイラ給水の加熱設備導入	2020～ 2021	4	2020	4
7	エネ起	360705	圧縮エアー、窒素漏れ箇所の修 繕	2020～ 2022	5	2020～ 2021	1.3
8	エネ起	380752	照明のLED化	2020～ 2022	15	2020～ 2021	15
9	エネ起	360799	ポンプ・ファンの新設・更新時 の高効率化	2020～ 2022	3	2020～ 2021	2.2
10	エネ起	330202	エアコン更新と高効率化	2022	40	2021	19.5

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,511	1	3,269	1	3,351	1	3,256
1,500k1未満								
合計	1	3,511	1	3,269	1	3,351	1	3,256

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合	50	50	50	50

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	立地の問題で公共交通機関を使用しての通勤は不可。実施なし。
自転車の利用促進	立地の問題で自転車の利用はしていない。通勤時の使用も安全確保が困難であるため、自転車の使用を禁止している。実施なし。
来客者の交通対策	実施なし。
物流の合理化	実施なし。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	廃棄物の分別、有価物回収。		2021年度

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄水(上水/純水)使用量の管理。もれ・無駄の削減。 ・デマンド管理による空調使用箇所の制限。 ・空調設備の設定温度の管理。 ・窒素使用量の管理。 ・新規導入設備の稼働により、排水量を原単位で32%削減(2019年度比)。 ・老朽化設備の廃止により、窒素使用量を原単位で23%削減(2019年度比)。
--